



部長のひと言



建築部長 柳瀬 秀希

昔から怖いものたとえに“地震”“雷”“火事”“親父”と言いますが、最近たびたび起こる地震について一言。一般に地震に対する構造を、耐震構造と言っていますが、地震に対する構造には、「耐震構造」「制振構造」「免震構造」があります。

- ・耐震構造 建物の堅さと強さで地震に抵抗します。
→地震の規模によっては、柱・梁・壁に損傷が出ます。
- ・制振構造 建物内に配置した制振部材（ダンパー）で地震エネルギーを吸収します。
→ダンパーが地震エネルギーを吸収し、柱・梁・壁の損傷ゼロも可能。
- ・免震構造 建物と地盤の間に積層ゴムなどを介入させ、揺れを軽減し壊れにくくする。
→免震層のダンパーで地震エネルギーを吸収し、建物に損傷を与えません。



以上の中で何が最適と言う様な単純なことではなく、いろいろな条件のもとで適材適所に用いる必要があります。

最近“地震・雷・火事・女房”と言う話もありますが、私の場合は、免震構造のような対応で破壊されないように生きています。

●社員研修会●

3月15日、(株)よしもとコミュニケーションズの吉友嘉久子さんを講師に招き、「明るい職場づくり」と題し、新入社員を迎えるためのポイントを講義していただきました。



今時の若手社員の気質、言葉のキャッチボール、セクハラやパワハラ等の不快感を与える言葉や態度について、具体的な例を挙げながら現代的なコミュニケーションの取り方を学びました。

働き方改革を進めるにあたり、講義を通して気づけた事がいくつもあり、より良い環境を築いていくためのヒントになりました。



2月27日、ANA 富山で建設業協会主催の「建設業の女性活躍セミナー」に参加し、女性技術者の現状を聞いてきました。



仕事に関しては、一技術者として扱ってもらい、仕事がしづらいと感じていませんでしたが、育児中の方は子育てとの両立、新婚の方は出産等に際して会社の対応に不安を感じていました。出産は女性にしかできず、子育ても女性中心になりますが、「子を育てる」ことは両親で行うことが大切です。子育て関係の就業規則においても男性が取得しやすい環境になることが、これから女性が活躍するうえで大事なのではないかとっておられました。

女性が働きやすいということは男性も働きやすい環境だと思います。また、若年者は整った環境で育った方が多いので、快適な職場づくりがこれからの入社につながると思います。



4月6日～15日までの10日間は、春の全国交通安全運動期間です。新しく入学した児童や、自転車で通学する生徒が増え、運転免許を取得したばかりのドライバーも増加し、事故の危険性が高まる時期です。安全運転をおねがいします。



お花見に行くときは、後片付けなど、マナーを守りましょう。



4月行事予定	
5日(木)	会社創立記念式
9日(月)・10日(火)	富山県建設業協会社員研修会
11日(水)	JAPAN コンストラクション国際賞授賞式
12日(木)	丸新会 総会(宇奈月温泉 延楽)
20日(金)	会社全体会議
26日(木)	富山県立大学 企業説明会
	随時 社内安全パトロール



富山市総合体育館で開催された企業説明会に参加しました。

採用活動に力を入れ始めた一昨年に比べ、少しずつですが、弊社の海外事業での取り組みや、土木建設業に興味を示してくれる学生さんが増えてきました。

今年度も説明会の参加や、会社訪問、インターンシップなどを継続する予定です。気になる方は、弊社ホームページから、『採用活動』のカテゴリをチェックしてください。



リレーコーナー

『レクイエム』

土木部 山本 裕彦

10才ぐらいからラジオから流れる洋楽を聴くようになり、見たこともない外国に憧れた。それから約50年間洋楽を聴き、Beatles、Stones をはじめレコードを買い集め、コンサートにも足を運んだ。ここ数年、好きなアーティストの訃報を聞くにつれ、時代の流れを感じるとともに、もう新譜が聴けないことに寂しさを感じる。アルバム1枚1枚それぞれに思い出があり、当時の記憶が詰まっている。

日本を愛するアーティストも多く、東日本大震災の際も多くのアーティストがチャリティ活動に参加していた。

今、アナログレコードが見直されているとのこと、物置で眠っているレコードに針を落としてみようかな。

Forever Mick & Keith



【東日本大震災チャリティ・アルバム】↑

夏用作業服が新しくなりました！

今年度から、夏用の作業服を一新しました。色はキャメル、上着はジャンパーとシャツ、ズボンは通常のパンツとカーゴパンツが選べるようになりました。型も男女兼用のものに変更し、女性社員にも対応できる作りになっています。※冬用作業服に変更はありません。

